



いよいよ今年も残すところあとわずかととなり、年末の大掃除の時期が近づいてきました。掃除をして家庭のものを分別・廃棄する際に、改めて家庭から出る「ごみ」の量に驚くことがあると思います。

私たちの生活の中から出るごみは大隅肝属広域事務組合が運営する「肝属地区清掃センター」で主に処理されています。令和4年度に持ち込みや市内のごみステーション、893か所(令和5年3月31日時点)から集められるなどして処理された

voice

Q 鹿屋市からはどれくらいごみが出ているの?

鹿屋市のごみのうち、可燃ごみの割合は77.56%であり、約2万5千tもの可燃ごみが廃棄されています。これは、学校にある25mプール約70杯分もの量になります。

焼却時に出る二酸化炭素の排出を抑えるためには、可燃ごみの量を減らすことが何よりも大切です。しかし、可燃ごみの中に「資源ごみである紙類や雑誌、洗えば分別することができるプラスチック類が混ざっている」「水分を含む重たい生ごみが多く入っている」状態のままごみを出す人がおり、ごみの量がなかなか減らない現状があります。

可燃ごみを減らすためにも、料理を食べる、食材を使いきる、生ごみの水気を切る「3キリ運動」は家庭で始めるごみ削減の第一歩。正しい分別も意識しながら家庭からのごみを減らすように、市民全体で取り組んでいきましょう。

! 最もごみの量が多くなる月

肝属地区清掃センターでごみの処理量が特に多くなる月は、大掃除シーズンの12月と、引っ越し後の5月です。

大掃除のときは、年末年始の休みに注意しながら、早めにごみを持ち込むようにしましょう。

お手数ですが
63円切手を
お貼りください

8 9 3 - 8 5 0 1

POST CARD

皆さんからのお便りを募集

鹿屋市役所 政策推進課

広報かのや

KANOYA 「読者のひろば」係 行

お名前/ふりがな

電話番号

ペンネーム ※未記入の場合、イニシャルで掲載します

年齢/性別

ご住所 □□□-□□□□

歳 男・女

プレゼント

要・不要

クイズの答え

広報誌への感想や取り上げてほしい話題のほか、市へのご意見、地域のイベントや写真など多くの情報をお寄せください。

お便りの中から、抽選で特産品等をプレゼントします。たくさんのご応募お待ちしております!

※掲載時に原稿の一部を手直します場合もあります。

〒893-8501
鹿屋市共栄町 20-1
政策推進課
「読者のひろば」係
☎ 0994-31-1123